

ERIF

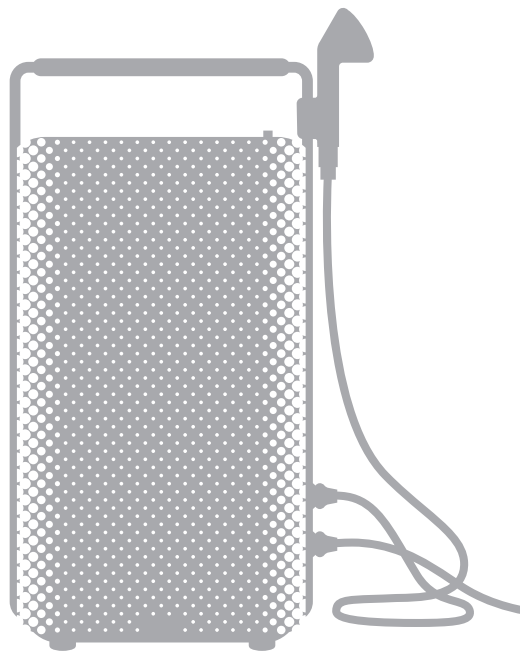
EGB-GB-010 OUTDOOR GAS BOILER

アウトドア ガス ボイラー

屋外式可搬型カセットガス瞬間湯沸器

取扱説明書

このたびは、ERIF / OUTDOOR GAS BOILERをお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき大切に保管してください。



注意事項

●屋外専用(屋内、テント内、車内などでは絶対に使用しないでください)●誤った使い方や用途以外でご使用されますと、やけど、火災、一酸化炭素中毒などの思わぬ事故の原因となり、また、本製品の故障、焼損の恐れがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。●本製品を使用される際には、必ず取扱説明書を携帯してください。

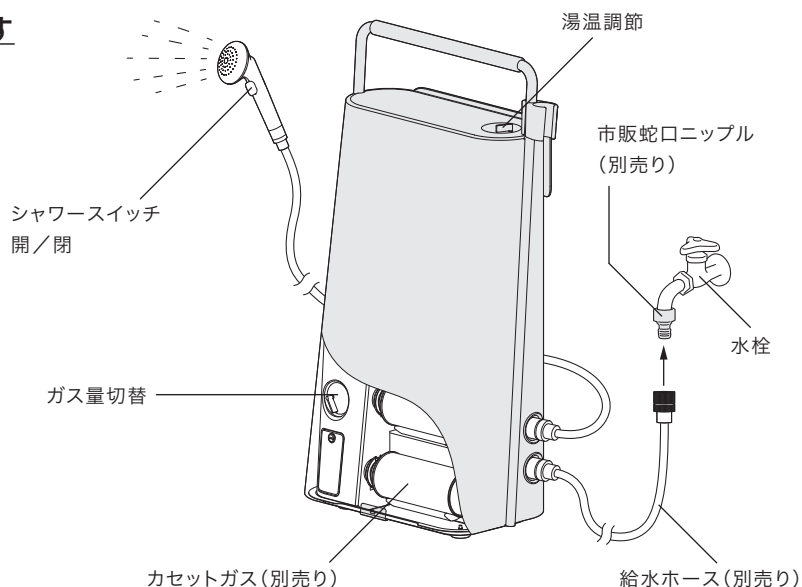
目次

はじめに	
こんなことができます	2
ご使用前に	3
使用上の注意	
1. 火災予防、やけど予防、ガス事故防止のために	4
2. カセットガスの過熱防止のために	10
3. カセットガスの取り扱いと保管について	11
4. 使用場所について	13
5. その他	16
製品の概要	
各部の名称とはたらき	17
付属品一覧	19
本体・付属品以外に必要なもの	20
使用前の準備	
リフトアップカバーの開閉方法	21
乾電池の取り付けかた	22
運搬方法	23
シャワーヘッドの取り付けかた	23
ホースの取り付けかた	24
シャワーフックの使いかた	25
事前の通水	25
使用前確認	26
使用方法	
カセットガスを取り付ける	27
お湯を出す	28
お湯の温度を調節する	29
使用後の処置	
カセットガスを取り外す	31
機器内の残留ガスを使い切る	32
水を抜く(ホースを取り外す)	33

日常点検・お手入れ	34
保管方法・保管場所	36
廃棄について	37
別売品一覧・別売品使用方法	39
故障・異常かな?と思ったら	
故障・異常の診断と対処方法	41
次のような場合は故障ではありません	48
圧力感知安全装置の復帰方法	49
仕様	51
安全装置について	52
アフターサービス	53
消耗品・推奨品一覧	54

はじめに




こんなことができます






※水道接続必要(小型ポンプ等では作動しません)

ご使用前に

- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。本製品を使用される際には、必ず取扱説明書を携帯してください。
- 取扱説明書は改版されることがあります。ERIFウェブサイト (<https://www.erif.jp>) で最新版が発行されていないかを確認し、必要に応じてダウンロードしてください。取扱説明書のバージョンは裏表紙右下に記載(例:L-17001-0)してあります。
- P.19を見て付属品を確認してください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

- 本文中のマークは次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない『禁止』を表しています。
	このマークは、「危険」・「警告」・「注意」を促す内容を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく『指示』を表しています。

使用上の注意

1. 火災予防、やけど予防、ガス事故防止のために

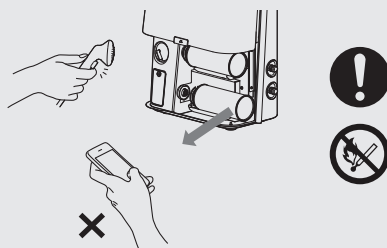
⚠ 危険

ガス漏れ時は使用を禁止する

ガスが漏れるとガスの臭い(腐った玉ねぎのような臭い)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまりますので、電気製品のスイッチを入れたり、火気を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

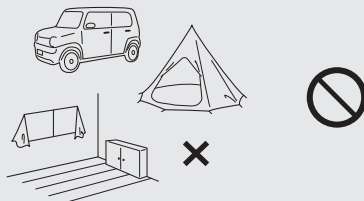
ガス漏れに気づいたときは、すぐに次の処置を行ってください。

①直ちに火を止める。 ②カセットガスを外す。



本製品は屋外使用専用です

屋内、テント内、車内などでは絶対にご使用にならないでください。誤った使い方や用途以外のご使用をされますと、やけどや火災や一酸化炭素中毒などの思わぬ事故の原因となり、また本製品の故障、焼損のおそれがあります。取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用ください。



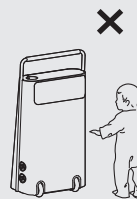
分解修理・改造した機器は使用しない

故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・改造はしないでください。不完全な修理や改造は危険です。



お子様を排気口・防風板の前に立たせない

排気口・防風板の前に立たせないように注意してください。やけどや体調不良などのおそれがあります。



警告

火災に注意する

機器周辺に燃えやすいものがないことを確認してから使用してください。火災などの原因になることがあります。



スプレーや化学薬品を使用する場所で使わない

フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属が錆びたり、健康を害したり、また機器の故障の原因になります。



機器の近くにカセットガスを放置しない

機器の近くに予備のカセットガスやスプレー缶などを放置しないでください。熱でカセットガスの圧力が上がり爆発する危険があります。



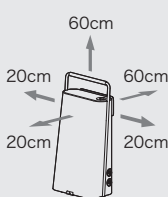
子供やペットだけの場所で使用しない

お子様やペットだけの場所で使用したり、幼児の手の届くところでは使用しないでください。やけどやけがなどの原因になります。



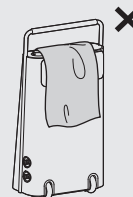
機器と可燃物は十分に距離を離す

リフトアップカバーより水平20cm、防風板より水平60cm、グリップハンドルより上方60cm、側方各20cmの離隔距離を確保してください。



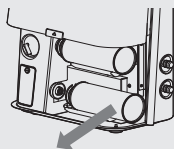
排気口・防風板をふさがない

排気口・防風板に紙・布・異物を入れて、ふさがないようにしてください。異常燃焼や火災などの原因となります。



使用後はカセットガスを取り外す

使用後は火災防止、ガス事故防止のためカセットガスを必ず機器から取り出し、キャップをはめて保管してください。



落下物の危険がある場所は避ける

落下物のおそれがあるところでは使用しないでください。落下により火災や機器の故障などのおそれがあります。



一度で点火しなかった場合は注意する

一度の点火動作で着火せず、再点火の際は、ガスの臭いなくなったことを確認してから行ってください。



機器内部に滞留したガスに引火することがあります。

衣類の乾燥に使用しない

衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災などの原因になります。



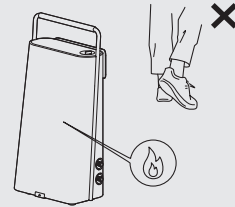
異常・緊急時には使用しない

点火しないときや、ご使用中に異常な臭い、音、炎の色など異常や故障と思われるときや地震、火災などの緊急時には直ちに使用を中止し、カセットガスを外してください。異常を感じたときは41ページの『故障・異常かな?と思ったら』に従い処置を行ってください。処置を行っても直らないときは、使用を中止し53ページの『アフターサービス』に記載されている連絡先にご相談ください。



使用中は機器から離れない

火をつけたまま使用場所を離れないでください。そばを離れるときは、消火してください。思わぬ事故などの原因となることがあります。



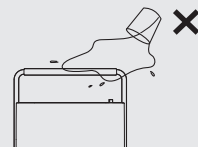
使用時は、手で湯温を確認してから使用する

お湯を使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることもあるので、熱いお湯を出しきってから使用してください。蒸気が激しく出るような状態で使用しないでください。やけどなどの恐れがあります。



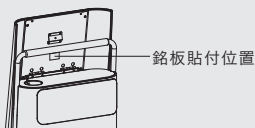
水などの液体をかけない

機器に水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・やけどなどの原因になります。液体をかけてしまったときは使用を中止し53ページの『アフターサービス』に記載されている連絡先にご相談ください。



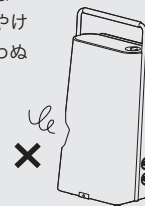
指定のガスを使用する

銘板に表示してあるガス以外では使用しないでください(表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼や爆発点火の原因となります)。



機器が破損した状態では使用しない

機器が変形、破損などした状態で使用しないでください。火災、やけど、一酸化炭素中毒などの思わぬ事故の原因となります。



燃焼中にはカセットガスを取り外さない

燃焼中は、カセットガスを絶対に取り外さないでください。



使用中に地震、火災などが発生した場合は、シャワーを止めて消火し、カセットガスを取り外す

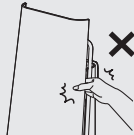
火災のおそれや思わぬ事故などの原因となります。



⚠ 注意

本体内に指や異物を入れない

排気口やリフトアップカバーに指や可燃物、針金などの異物を入れないでください。けがややけどを負ったり、火災の原因になります。



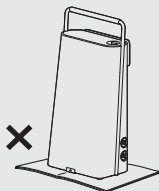
廃棄するときは乾電池を取り外し 正規の処理を行う

機器を廃棄処分するときは、乾電池を取り外してから、お住まいの自治体の指示に従ってください。



燃えやすいものを下に敷かない

機器の下に燃えやすいものや熱に弱いもの（ビニールクロス・ダンボール・新聞紙など）を敷かないでください。火災などの原因になります。



本書の記載に従い正しく保管する

長期間使用しないときや、保管するときは、必ずカセットガスを取り外し、36ページの『保管方法・保管場所』に従って正しく保管してください。思わぬ事故などの原因になります。



廃棄する際にはガスを使い切る

機器を廃棄処分するときは、機器の残留ガスを使い切り、必ずカセットガスを取り外してください。機器の残留ガスを使い切らず、カセットガスが入ったまま廃棄すると、思わぬ事故などの原因になります。



高温部に接触しない

燃焼中や消火直後は排気口・防風板や周辺は熱くなりますので手など触れないでください。やけどなどのおそれがあります。



移動・運搬の際にはカセットガスを外す

機器を移動するときは、火を消してカセットガスを取り外し23ページの『運搬方法』に従って運んでください。火災ややけどなどの原因になります。



給湯以外の用途には使用しない

水漏れや、やけど、機器損傷、一酸化炭素中毒など、思わぬ事故の原因になります。



カセットガスは必ず2本で使用する

カセットガスは必ず2本取りつけて使用してください。異なる種類のカセットガスを使用しないでください。



本製品の使用時は リフトアップカバーを閉じる

リフトアップカバーを開けたまま使用しないでください。やけどや火災など思わぬ事故の原因になります。



機器の上部を他の目的に使用しない

天板やグリップハンドルに物をのせたり、手や足をかけたりしないでください。転倒して、火災ややけどなどの原因になります。



カセットガスを装着するときは 機器本体を寝かした状態で装着しない

寝かした状態でカセットガスを装着すると、液化したガスが機器内に流れ込む可能性がありますので、十分注意してください。



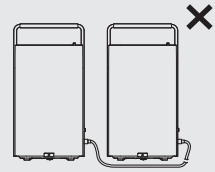
カセットガスを装着した状態で 保管しない

本製品を使用しない場合は、カセットガスを取り外してください。ガス漏れを起こすことがあります。



本製品を連結して使用しない

本製品は2台以上連結して使用しないでください。高温出湯、カセットガスの異常過熱など、思わぬ事故や故障の原因になります。



長時間使用していなかった場合は 通水後に使用する

本製品を長時間使用していない場合は、30秒程度通水してから使用してください。



お願い

点火・消火を確認する

使用時の点火、使用後の消火を「点火確認窓」から確認してください。火災などのおそれがあります。

使用中、水圧の変化でお湯の温度が変わることがあるため、お湯の温度には十分注意して使用する

やけどなどのおそれがあります。

温泉水や井戸水、地下水は使用しない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合は有償修理になります。機器への給水には必ず水道水を使用してください。

お湯を一度止めて使用を再開するときは、はじめに熱いお湯が出るため、十分注意して使用する

やけどなどのおそれがあります。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合は有償修理になります。

凍結による破損を予防する

暖かい地域でも、本製品の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、十分な水抜きを実施し保管をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、有償になります。33ページの『水を抜く(ホースを取り外す)』、36ページの『保管方法・保管場所』を参照してください。

給水ホースとシャワーホースを正しく取り付ける

給水ホースとシャワーホースの取りつける接続部分を間違えると水漏れややけど、故障などの思わぬ事故のおそれがあります。

この機器専用の付属部品、別売部品、推奨部品以外は使用しない(乾電池は除く)

思わぬ事故や故障などの原因になります。

通水使用しない

燃焼していない状態で、本機器を散水などの水を出す用途に長時間使用しないでください。通水部分の結露により機器の寿命が短くなります。

長期間使用しない場合は乾電池を外す

長期間使用しない場合は、乾電池を外して保管してください。

使用上の注意

2. カセットガスの過熱防止のために

警告

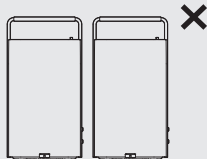
送風機器(扇風機など)の風のアたるところでは使用しない

風があたると炎が立ち上がり火災ややけど、本体焼損などの原因になります。



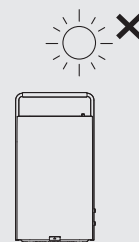
2台以上並べて使用しない

2台以上並べての使用は絶対にしないでください。本体内に熱がこもり、カセットガスが過熱して爆発や火災の原因になります。



カセットガスが過熱する場所では使用しない

火気や直射日光のあたる場所などカセットガスが過熱するような場所では使用しないでください。カセットガスが過熱して爆発や火災の原因になります。



暖房器具と近づけて使用しない

暖房器具の熱がカセットガスに伝わり爆発や火災などの原因になります。



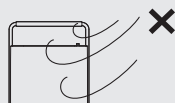
熱源(電気こんろ、電磁調理器など)の上や近くで使用や保管しない

間違っても電源などが入るとカセットガスが過熱され爆発や火災の原因になります。



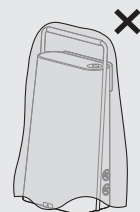
強風が吹いている時や悪天候の時は使用しない

強風が吹いている時や悪天候の時は、ご使用にならないでください。雨や風で火が消えたり一部がしめったりして事故や本体焼損などの原因になり危険です。



使用中の機器を囲ったり覆ったりしない

引火による火災や機器の焼損、過熱による爆発などのおそれがあります。



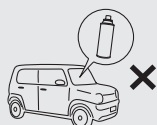
使用上の注意

3. カセットガスの取り扱いと保管について

警告

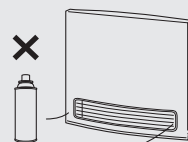
火気や直射日光を避ける

カセットガスは火気や直射日光（室内や車内の窓際なども含む）を避けて、カセットガスのキャップをはめて風通しがよく湿気の少ない、40℃以下の場所で保管してください。また使用後はカセットガスを本体から取り外して保管してください。



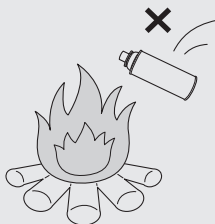
熱気のアたる場所に放置しない

カセットガスは暖房器具、オーブントースター、たき火などの熱気が発生させる器具の周囲や、熱気のアたる場所には放置しないでください。熱でカセットガスの圧力が上がり、爆発し危険です。



カセットガスを火の中に投じない

カセットガスは火の中に投入しないでください。火の中に投入すると爆発し、危険です。



完全に使い切ってから廃棄する

①カセットガスを振ってサラサラと音のする場合はガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火に投入すると爆発し危険です。

②使い切ってから各自自治体の指示に従って分別廃棄してください。ガスが残っていると清掃車の火災などのおそれがあります。



カセットガスは、本書の記載に従って正しく装着、使用する

装着前にマグネット・口金部に付着物等がないことを確認してください。装着時は機器を立てた状態で（寝かせず）、容器受けガイドとカセットガスの切込みを合わせてください。使用時は2本同時に使用してください。



指定のカセットガスを使用する

カセットガスは『ERIF レギュラーガスカートリッジ』もしくは『東邦金属工業(株)トーホーハンディガス(ゴールドとミニを除く)』をご使用ください。他のカセットガスを使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。



⚠ 注意

強い衝撃をあたえたり、落下のおそれのある場所での保管はしない

カセットガスに強い衝撃を与えないでください。破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。



変形のあるカセットガスは使用しない ガス漏れなどの原因になります。



ガスを故意に吸引しない

カセットガスのガスを故意に吸引しないでください。酸欠により窒息死の原因になります。



カセットガスに錆が発生している 場合には使用しない



お願い

- カセットガスに表示されている注意事項を必ずお読みください。
- 使用時はカセットガスのキャップを外し、
保管のときはカセットガスのキャップを押し込んで装着してください。

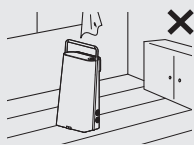
使用上の注意

4. 使用場所について

警告

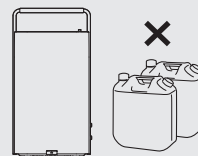
排気がこもる場所では使用しない

本製品は屋外専用です。テント内や車内など閉め切った狭い場所などでは絶対に使用しないでください。屋外でも排気がこもるような場所では使用しないでください。一酸化炭素中毒や酸欠による死亡事故の原因になります。また、周囲の可燃物に引火して火災などのおそれがあります。



機器を引火物(ガソリン、灯油、ガスなど)の近くで使用しない、スプレーなどの引火物を機器の近くに置かない、使用しない

引火による爆発のおそれがあります。



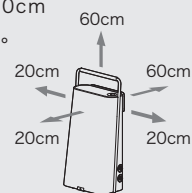
落下物の危険がある場所は避ける

落下物のおそれのあるところでは使用しないでください。落下物により火災や機器の故障などのおそれがあります。



機器の周囲のものとは、常に離隔距離を確保する

リフトアップカバーより水平20cm、防風板より水平60cm、グリップハンドルより上方60cm、側方各20cmの離隔距離を確保してください。



水のかかる場所では使用しない

雨の中や水のかかる場所での使用や保管はしないでください。水などの液体が本体の内部に流れ込むと、異常燃焼・やけどなどの思わぬ故障の原因になります。



燃えやすいもののそばでは使用しない

燃えやすい物や熱に弱いもののそばなどでは使用しないでください。火災の原因になります。



燃焼排ガスの影響を受ける場所や物の近くで使用しない

燃焼排ガスの近くに植物を置いたり、動物がいたりすると、影響で植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。



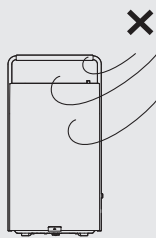
直射日光のあたる場所で使用しない

直射日光や熱気などがあたる場所（夏の砂浜など）に置かないでください。過熱により爆発や火災などの原因になります。



風のアたる場所で使用しない

風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして本体焼損などのおそれがあります。



出入口やドアの近くに置かない

部屋の出入口やドアの近くに置かないでください。ぶつかると転倒ややけどのおそれがあります。



注意

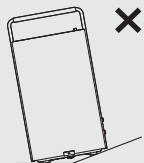
熱に弱いものの上では使用しない

熱に弱いもの（ビニールクロス、樹脂製の台など）の上で使用すると変色、ひび割れ・そり返りなどが発生する事があります。



水平でない場所、不安定な場所では使用しない

傾斜した場所や不安定なものの上に設置して使用しないでください。転倒し、火災のおそれや転倒時ガス遮断装置が正しく作動しない事があります。



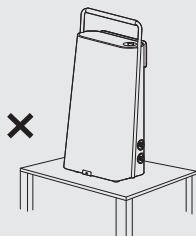
ほこり・湿気・金属粉の多い場所では使用しない

不完全燃焼やほこりに引火し火災などの原因になります。



壁に掛けたり、机などの上には置かない

落下して、けがをするおそれがあります。



気温が5℃以下の所では使用しない

カセットガスの温度が5℃以下になっているとブタンガスが十分に気化せず点火しなかったり、火力が弱くなり、また不完全燃焼の原因となります。



可燃性ガスの発生する場所では使用しない

可燃性ガスが発生する場所や滞留する場所では使用しないでください。引火して火災などのおそれがあります。



高地では使用しない

山岳地など標高が高い場所では、空気が薄いため、点火不良や、不安定な燃焼により安全装置が作動する場合があります。



本製品を囲わない

本製品が囲われる場所や排気口をふさぐような設置はしないでください。不完全燃焼や故障などの原因になります。



振動の激しい場所では使用しない

船舶上など設置面自体が揺れたり、使用中に本製品が傾いたり、大きく動く場所では使用をしないでください。炎が大きくなることもあり、やけどや火災の原因になります。



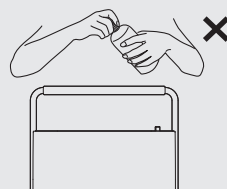
スプレーや化学薬品を使用する場所では使用しない

スプレーや化学薬品を使用する場所などでは使用しないでください。フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属が錆びたり、異臭の原因になります。



樹脂製品の直下では使用しない

樹脂製品の直下で使用しないでください。樹脂製品が変形・変色することがあります。



使用上の注意

5. その他

警告

機器に無理な力を加えない

機器本体、カセットガス装着部、排気口、防風板などに物を置いたり無理な力をかけないでください。機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



本製品に温水器などを接続しない

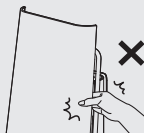
本製品に太陽熱温水器やガス給湯器などの温水機器を接続すると、高温出湯やカセットガス異常過熱など、やけど、思わぬ事故、故障の原因となります。



注意

指の挟み込みに注意する

カセットガスを交換する際など、リフトアップカバー等で指を挟みこまないよう注意してください。けがの原因になります。



金属部分の端面に注意する

本製品は金属製です。端面部分でけがをしないよう注意してください。



お願い

飲用には使用しないでください

機器内にたまった水は、調理・飲用しないでください。また、機器内部を通水した水も調理・飲用しないでください。



ホースを座屈させないでください

シャワーホースや給水ホースは折れ曲がった状態で使用および保管しないでください。ホースが破損したり、機器が正常に作動しない事などがあります。

断水時はすぐ使用を中止してください

断水時はすぐに使用をやめ、ご使用の水栓を閉じてください。断水が終わるまで使用を中止してください。

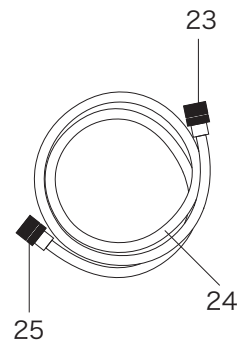
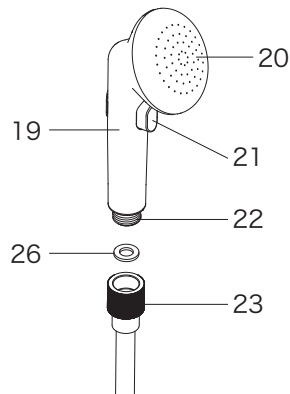
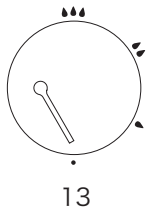
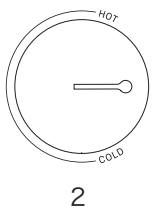
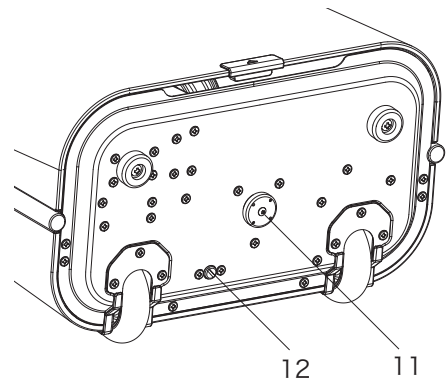
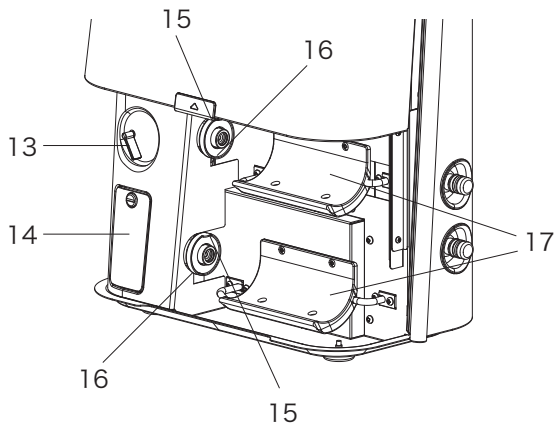
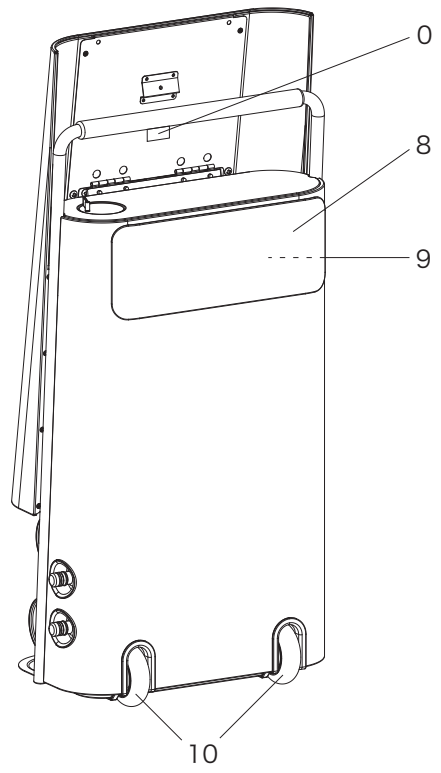
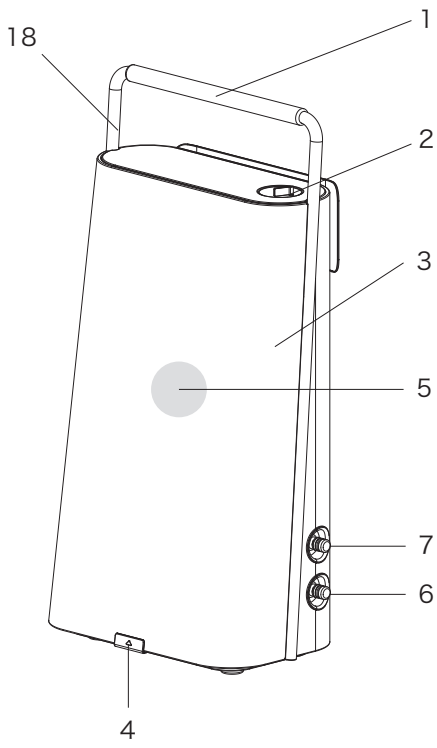
本機器は音がでます

点火や燃焼にともなう音や、ブザー音ができるため、迷惑にならない場所でご使用ください。

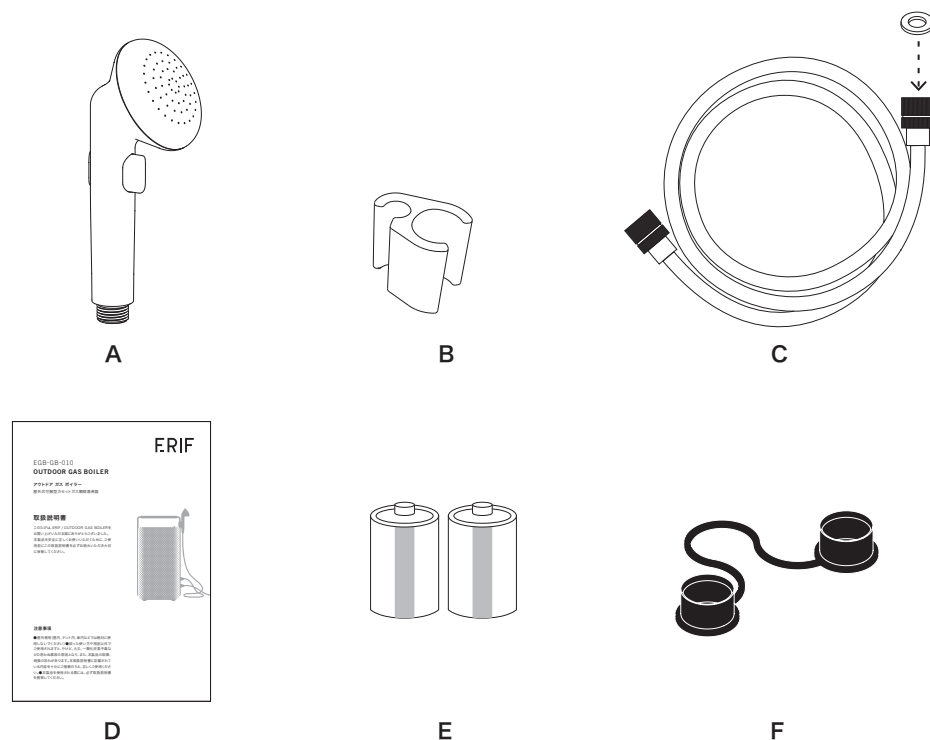
製品の概要

各部の名称とはたらき

0 銘板(めいばん)	製造年月や製造番号が記されています。
1 グリップハンドル	本製品を移動させる際のハンドルです。
2 温度調節ダイヤル	水量を調節することでお湯の温度を変化させます。本書ではツマミともいいます。
3 リフトアップカバー	カセットガスの脱着、乾電池の脱着、ガス量の切替えの際に開閉します。
4 カバーグリップ	リフトアップカバーを開閉する際の取手です。
5 点火確認窓	点火消火を確認するための窓です(パンチングメタルの奥に開口があります)。
6 水接続口	給水ホースを接続します。
7 湯接続口	シャワーホースを接続します。
8 防風板	風の侵入を防ぎます。
9 排気口	排気ガスが出ます(防風板の裏にあります)。
10 ホイール	本製品を移動させる際のタイヤです。
11 傾斜閉止弁	本製品が床から離れたり、倒れるとガスが遮断されます。
12 水抜栓	本製品の水を抜くときに使用します。
13 ガス量切替ダイヤル	ガス量を切替えることでお湯の温度を変化させます。本書ではツマミともいいます。
14 電池ボックス	乾電池を収める場所です。
15 容器受けガイド	カセットガスが誤った姿勢で装着できないように保護します。
16 マグネット	カセットガスを装着した後、カセットガスを固定して保持します。
17 ヒートホルダー	ガスの出力を安定させるために、カセットガスを適度に温めます。
18 ハンドルフレーム	シャワーフックを掛けられます。
19 シャワーヘッド本体	お湯がでる部品です。
20 散水板	散水用の穴が設けられた部品で取り外し可能です。
21 シャワースイッチ	お湯を出したり止めたりするスイッチです。
22 シャワーヘッドねじ部	シャワーヘッドとホースを接続する部品です。
23 シャワーホース接続口	シャワーヘッドとホースを接続するホース側の部品です。
24 シャワーホース本体	シャワー用のお湯を通すホースです。
25 シャワーホースカプラ	本体とホースを接続する部品です。
26 ホース接続パッキン	シャワーヘッドとホースの接続を密閉させる消耗品です。



付属品一覧



A シャワーヘッド

シャワーホースに取り付け、シャワーの開／閉を切り替えられます。

B シャワーフック

シャワーヘッドを本体にかけるための部品です。

C シャワーホース

ホースは熱に弱いので、防風板や排気口周囲の高温となる部分に接触させないように注意してください。
シャワーホースにはホース接続パッキンが付属されています。

D 取扱説明書

本書

E お試し用乾電池(単一形×2個)

本製品の電源になります。付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

F 接続口キャップ




機器本体を保管するときや使用しないとき、湯・水接続口にゴミや石等が入らないようにする為に取り付けるキャップです。取付けの際は、各接続口に接続口キャップを被せた後に押込んでください。取り外す際は、接続口キャップの縁の部分をつまみ引っ張ってください。接続口キャップの縁の部分以外を引っ張ったり、強い力を加えたりすると破損するおそれがあります。

本体・付属品以外に必要なもの

以下の部品を事前に用意していただかないと、本製品をお使いになる事は出来ません。




使用可能燃料

カセットガスは『ERIF レギュラーガスカートリッジ』もしくは『東邦金属工業(株)トーホーハンディガス(ゴールドとミニを除く)』をご使用ください。他のカセットガスを使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

 警告	 禁止	指定のカセットガス以外のものは使用しない。 ガス漏れの原因となります。
	 必ず行う	カセットガスに記載されている警告内容をよく読む。




給水ホース

本製品には、別売品の『ERIF 給水ホース』もしくは、ERIFウェブサイトで掲載している推奨品の市販給水ホースをご使用いただけます。

 警告	 禁止	指定の給水ホースまたは接続部材以外のものは使用しない。
	 必ず行う	接続部材に記載されている警告内容をよく読む。

蛇口ニップル

水道と『ERIF 給水ホース』の接続には、ERIFウェブサイトで掲載している推奨品の市販蛇口ニップルをお使いください。市販給水ホースをご利用の場合は、各メーカーに適合した蛇口ニップルをお使いください。

 警告	 禁止	指定の接続部材以外のものは使用しない。
	 必ず行う	接続部材に記載されている警告内容をよく読む。

使用前の準備

『はじめに』(P.2)のイラストの状態になるようにセッティングします。
各操作を実施してください。

使用前に使用場所、および周囲環境が本取扱説明書の『危険』・『警告』・『注意』で
使用不可となっている事項に該当していないことを確認してください。

リフトアップカバーの開閉方法

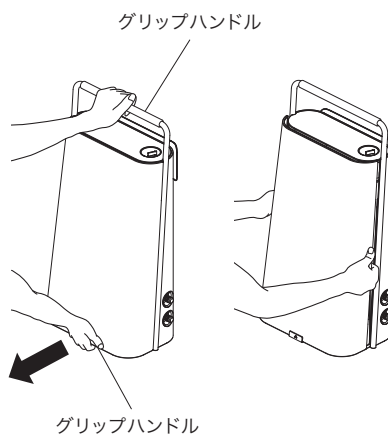
各操作でリフトアップカバーを開閉する場合は、以下の手順を実施してください。

1. 本体を水平な安定した場所に立てた状態で置く。

△注意 本体を傾斜している場所や不安定な場所に置くと本体が転倒するおそれがあります。

2. グリップハンドルとリフトアップカバーのカバーグリップに手をかけ、リフトアップカバーを手前に引き上げる。

※本体が転倒しないようにグリップハンドルで支えてください。
※リフトアップカバーが引き上がらないときは、グリップハンドルをリフトアップカバー側に引き寄せ本体を少し傾けると引き上がります。

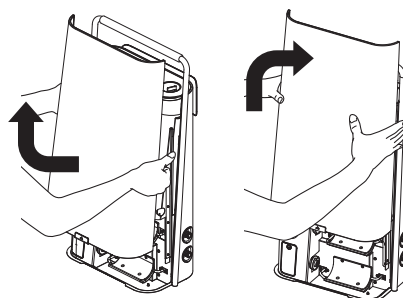


3. リフトアップカバーを上部まで持ちあげたら、本体側へ軽く押し込む。

※手を放してもリフトアップカバーが落ちてこないことを確認してください。

4. 閉じるときは、同様にグリップハンドルとリフトアップカバーのカバーグリップに手をかけ、リフトアップカバーを手前に引き下げる。

※リフトアップカバーはゆっくり引き下げてください。



5. 下部まで引き下げたらリフトアップカバーを本体側に軽く押し込む。

※「カチッ」と音がしてリフトアップカバーが閉じます。

乾電池の取り付けかた

使用中に乾電池を交換する場合は、シャワーヘッドのスイッチを「閉」にし、ご使用の水栓を閉め、カセットガスを取り外してから乾電池を交換してください。

1. リフトアップカバーを開ける(P.21)。
2. 電池ボックスの蓋のねじをゆるめ、電池ボックスの蓋を取り外す。

※電池ボックスの蓋のネジは、マイナスドライバーや硬貨を使用してゆるめます。

3. 乾電池(単一形×2個)を電池ボックスに取り付ける。

⚠注意 乾電池の+-の向きを間違えると機器が動作しません。

⚠注意 乾電池の交換時は、必ず2個とも同種類の新品の乾電池にしてください。長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。

⚠注意 新旧、異種の乾電池を使用すると、乾電池が破裂したり、液漏れする原因となります。

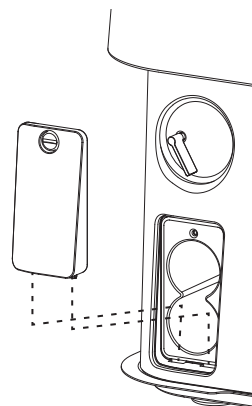
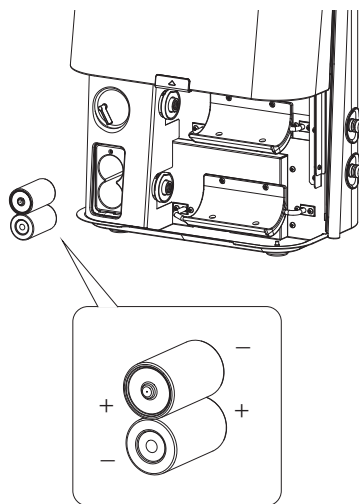
⚠注意 電池ボックスの接点部を確認し接点部が錆びているときは、使用を中止し、『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先に修理を依頼してください。

4. 電池ボックスの蓋を元通りに閉める。

⚠注意 電池ボックスの蓋下部の爪を電池ボックスの穴に挿入して蓋を閉めてください。

5. リフトアップカバーを元通りに閉める。

⚠注意 機器を使用するときはリフトアップカバーを閉めて使用してください。リフトアップカバーを閉めずに使用すると思わぬ事故の原因となります。



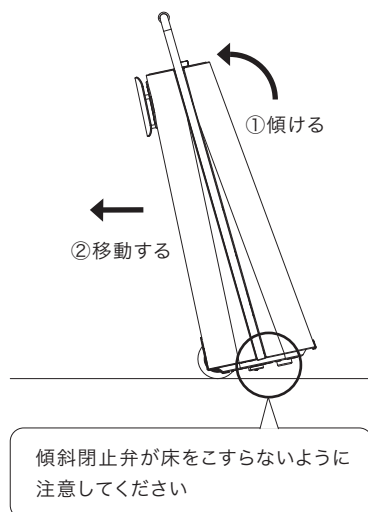
運搬方法

グリップハンドルをしっかりと持ち、機器をホイール側に傾けて引くとホイール走行で運ぶことができます。傾けたときに底面の「傾斜閉止弁」が床をこすらないよう、その場で完全に傾けてから運搬してください。段差や凹凸の激しい場所、石がある場所などではホイール走行で運ばずに、持ち上げて運んでください。また、車両で機器本体を運搬する際には必ず機器本体を立てた状態にして運搬してください。

△注意 運ぶ際は、必ず以下の操作を実施してから運んでください。故障や思わぬ事故の原因になります。

- ・カセットガスを取り外す
- ・機器内の残留ガスを使い切る(P.32)
- ・リフトアップカバーを閉める

△注意 車両で運搬する際には、寝かせた状態では運搬しないでください。また機器本体はしっかりと固定し、倒れたり跳ね上がったたりしないようにしてください。故障や思わぬ事故の原因となります。



※十分に傾けたあとに移動してください。底面をこすり故障・破損につながる恐れがあります。

シャワーヘッドの取り付けかた

1. シャワーホースの接続口にホース接続パッキンを入れる。

初めて使用する場合、ホース接続パッキンはホースの接続口に入っています。

2. シャワーホースにシャワーヘッドを接続する。

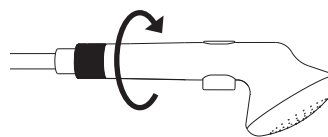
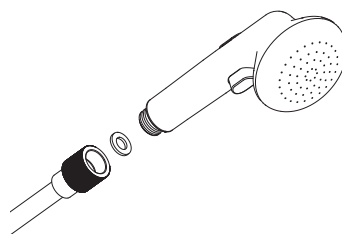
ねじ接続になっているため、時計回りに最後までねじ込んで接続してください。

△注意 ねじ部を斜めにねじ込むとシャワーヘッドが破損するおそれがあるので、注意してください。

△注意 強くねじを締め付けすぎるとシャワーヘッドが破損するおそれがあるので、注意してください。

お願い シャワーホースからシャワーヘッドを取り外した際は、ホース接続パッキンを紛失しないように注意してください。

お願い ホース接続パッキンを交換する場合、市販のゴムパッキン13A(外径:φ18.5、厚さ:2.5mm、材質:EPDMまたはNBR)に交換してください。

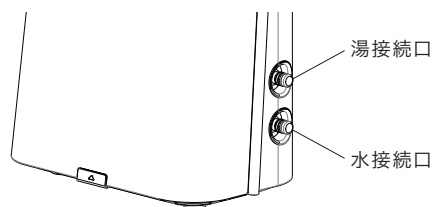


シャワーヘッドを時計回し

ホースの取り付けかた

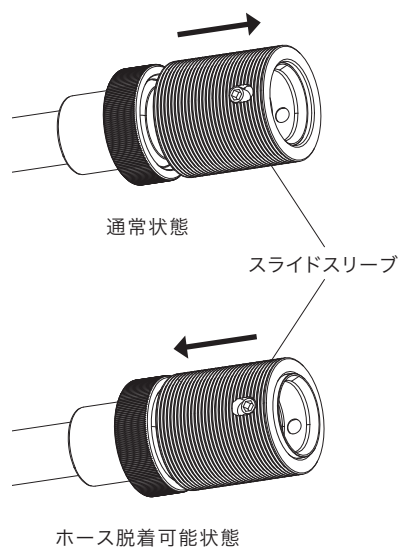
シャワーホース(付属品)は機器本体の湯接続口、給水ホース(別売品もしくは推奨品)は機器本体の水接続口に取り付けてください。

注意 シャワーホースと給水ホースの接続口への接続は間違わないように注意してください。間違っても逆の接続口に接続し使用すると故障や思わぬ事故の原因になります。



シャワーホースの取り付け手順

1. 湯接続口・水接続口から接続口キャップを取り外す。
2. シャワーホースカプラのスライドスリーブをホース側に引き寄せる。
3. シャワーホースカプラを湯接続口に奥まで差し込む。
4. スライドスリーブから手を離し、湯接続口にロックされたことを確認する。
5. ホースをもって引っ張り、湯接続口から抜けないことを確認する。



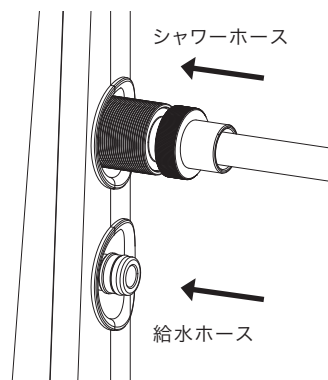
給水ホースの取り付け手順

注意 ホースを取り付ける際に、機器本体が転倒しないように注意してください。

1. 使用する水栓を閉じる。
2. 使用する水栓の蛇口に蛇口ニップル(推奨品)を取り付ける。

お願い 蛇口ニップルは推奨品の中から使用する蛇口に合うものを選定して、取り付けてください。

次ページへつづく



給水ホースの取り付け手順(つづき)

3. 給水ホースを蛇口ニップルに接続する。

お願い 市販給水ホースを使う場合は、各メーカーの取扱説明書にしたがって接続してください。

※水道接続必要(小型ポンプなどでは作動しません)

4. 給水ホースをもって引っ張り、蛇口ニップルから抜けないことを確認する。

5. 湯接続口・水接続口から接続口キャップを取り外す。

6. 給水ホースを機器本体の水接続口に接続する。

お願い 市販給水ホースを使う場合は、各メーカーの取扱説明書にしたがって接続してください。

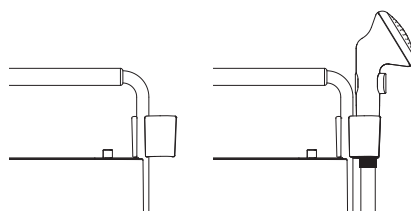
7. 給水ホースをもって引っ張り、水接続口から抜けないことを確認する。

シャワーフックの使いかた

1. シャワーフックをハンドルフレームに取り付ける。

※シャワーフックの穴の開いている側が下面です。

2. 取り付けしたシャワーフックにシャワーヘッドを引っ掛ける。



事前の通水

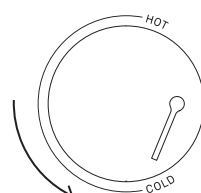
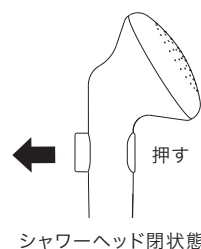
お願い カセットガスはまだ取り付けないでください。

1. シャワーヘッド、シャワーホース、給水ホースが正しく接続されていることを確認する。

2. シャワーヘッドのスイッチを「閉」にする。

3. 温度調節ダイヤルを『COLD』のポジションに合わせる。

4. リフトアップカバーを開ける(P.21)。



温度調節ダイヤル『COLD』

5. ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションに合わせる。

6. リフトアップカバーを閉める。

7. ご使用の水栓をゆっくり開け全開にする。

8. シャワーヘッドのスイッチを「開」にする。

※ブザー音が鳴ることがありますが異常ではありません。

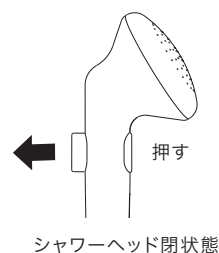
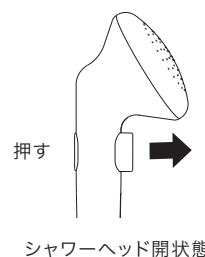
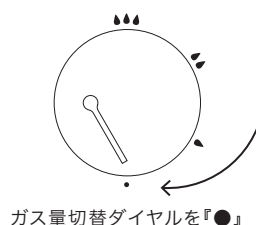
△注意 シャワーヘッドのスイッチを「開」にすると、はじめはホースや機器内の空気が水と混ざって出てきます。その際に水が飛び散ったりするため、水が掛からないよう周囲に気をつけてください。

9. 水が出ることを確認する。

※ホースや機器内の空気が抜け、水のみが出てくることを確認してください。

10. シャワーヘッドのスイッチを「閉」にし、水が止まること確認する。

△警告 水漏れする状態で機器を使用しないこと。故障や思わぬ事故の原因となります。

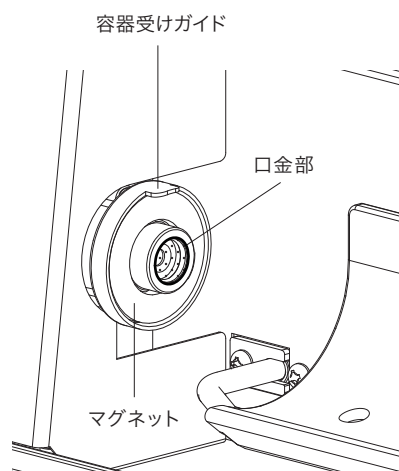


使用前確認

△警告 使用する前に必ず以下を確認する。ガス漏れや火災など思わぬ事故の原因となり、本製品の故障、焼損のおそれがあります。

● カセットガス装着前にマグネットに付着物がないか確認してください。マグネットに鉄片や鉄粉などの付着物があると、ガス漏れやカセットガスがセットできなくなる場合があります。付着物があるときは粘着テープを使って取り除いてください。

● 口金部に泥や砂などの汚れが付着しているか確認してください。付着している場合は、使用を中止し、『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。



使用方法




本製品を使用する際の手順です。

「使用前の準備」を全て完了してから以下の各操作を実施してください。

※水道へ接続し使用して下さい。小型ポンプからの給水では正しく動作しません。

使用前に使用場所、および周囲環境が本取扱説明書の『危険』・『警告』・『注意』で使用不可となっている事項に該当していないことを確認してください。

カセットガスを取り付ける

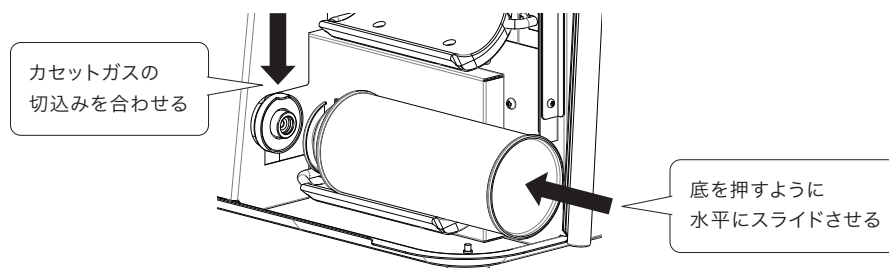
 警告	 必ず行う	マグネットとカセットガスの間に隙間がないように確実に取り付ける。ガスが漏れて火災の原因になります。
	 禁止	カセットガスを取り付けたときに、ガスの漏れる音やガスの臭いがしたときは、取付状態を確認し、音や臭いがなくなるまでお湯を出さない。数回取り付け直して改善しない場合は、使用を中止し、『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。

1. 中にガスが入っているカセットガスを用意し、カセットガスのキャップを取り外す。
2. リフトアップカバーを開ける(P.21)。
3. ガス量切替ダイヤルが『●』のポジションになっていることを確認する。
4. 容器受けガイドとカセットガスの切込みの位置を合わせて、カセットガスの底を押し下げるようにして水平にスライドさせ、マグネットに密着するまで押し込む。





警告 カセットガスは必ず2本取り付けてください。1本のみ取り付けて使用するとガス漏れや火災など思わぬ事故の原因となり、本製品の故障、焼損のおそれがあります。

注意 前ページの「使用前確認」を実施してからカセットガスを取り付けてください。

お願い 機器本体を立てた状態でカセットガスを取り付けてください。
機器本体を寝かせた状態でカセットガスを装着すると、思わぬ事故の原因となります。



お湯を出す

 警告	 必ず行う	<p>カセットガスが正常に取り付けられていることを、必ず確認する。やけどや火災など思わぬ事故の原因となり、本製品の故障、焼損の恐れがあります。</p>
 注意	 禁止	<p>水道の水栓でお湯を出したり止めたりしない。やけどや思わぬ事故の原因となるほか、本製品の故障につながるおそれがあるため、必ずシャワーヘッドのスイッチを用いてください。</p>

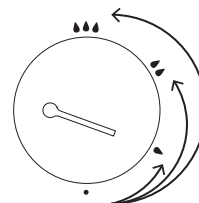
1. ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションに合わせる。

お願い 熱いお湯でやけどをしないようにガス量最小から開始してください。

ポジションを下げるときは、一度『●』位置に戻し、再度、上へ上げてください。各ポジションでカチッと音がして軽く止まります

2. リフトアップカバーを閉める。

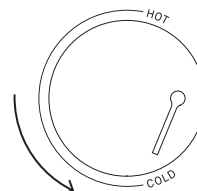
警告 お湯を使用するときはリフトアップカバーを閉めて使用してください。思わぬ事故の原因となります。



ガス量切替ダイヤル『●』

3. 温度調節ダイヤルを『COLD』のポジションに合わせる。

お願い 熱いお湯でやけどをしないように温度の低い『COLD』から開始してください。







温度調節ダイヤル『COLD』

4. シャワーヘッドのスイッチを「開」にしてお湯を出す。手でお湯の温度を確認するとともに、目視で点火確認窓から炎がついたことを確認する。

5. お湯を止めるときは、シャワーヘッドのスイッチを「閉」にする。お湯が止まったら、消火したこと（炎が消えていること）を目視により点火確認窓で確認する。

※カセットガスのガスがなくなると、お湯が出ずに水が出ます。カセットガスを交換してください。

お湯の温度を調節する

 警告	 必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ・お湯の温度を調節したときは、手で湯温を確認してから使用する。 ・お湯を一度止めてすぐに使用を再開するときは、熱いお湯が出ることもあるため、熱いお湯を出しきってから使用する。 ・使用後は、ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションに合わせる。 ・湯温の調節は、温度調節ダイヤルとガス量切替ダイヤルで調節する。それ以外の方法で湯温の調節をしない。
 注意	 禁止	使用中、お湯を使っている人以外は温度調節ダイヤルやガス量切替ダイヤルを操作しない。やけどや思わぬ事故の原因となります。

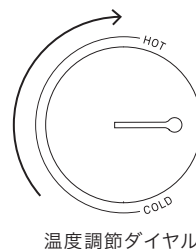
お湯の温度を熱くするとき

1. 温度調節ダイヤルを『HOT』側へまわしながら調節する。
2. さらに熱くしたいときは、ガス量を切替える必要があるため、いったんシャワーヘッドのスイッチを「閉」にしてお湯を止めてから、次の操作を行う。
3. 温度調節ダイヤルを『COLD』のポジションに合わせる。
4. リフトアップカバーを開ける。
5. ガス量切替ダイヤルを『●●●』側に1段階上のポジションに合わせる。

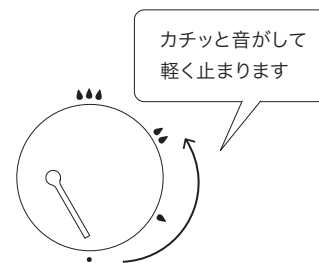
※各ポジションでカチッと音がして軽く止まります。

注意 『●』から『●●●』に一気に切り替えしないでください。
熱いお湯が出ることもあるため危険です。

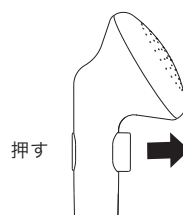
6. リフトアップカバーを閉める。
7. シャワーヘッドのスイッチを「開」にして、お湯の温度を手で確認しながら、徐々に温度調節ダイヤルを『HOT』方向へまわす。



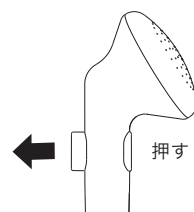
温度調節ダイヤル



ガス量切替ダイヤル






シャワーヘッド開状態



シャワーヘッド閉状態


8. 手順1から7までの操作を繰り返して最適な温度に調節する。

※温度調節ダイヤルが『HOT』のポジション、ガス量切替ダイヤルが『  』のポジションの組合せがお湯の最高設定温度です。

△注意 ご使用の水栓からの水の温度が高いときやガス量切替ダイヤルの設定が大き過ぎる場合は、安全装置が作動し火が消えお湯が水になることがあります。故障ではありません。


お湯の温度をぬるくするとき

1. 温度調節ダイヤルを『COLD』側へまわしながら調節する。
2. 温度調節ダイヤルを『COLD』のポジションにまわし切って、さらにぬるくしたいときは、シャワーヘッドのスイッチを「閉」にして一度お湯を止める。
3. リフトアップカバーを開ける。

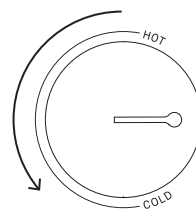
4. ガス量切替ダイヤルを一度『●』のポジションに合わせる。
5. ガス量切替ダイヤルを『』側の1段階下のポジションに合わせる。

※各ポジションでカチッと音がして軽く止まります。

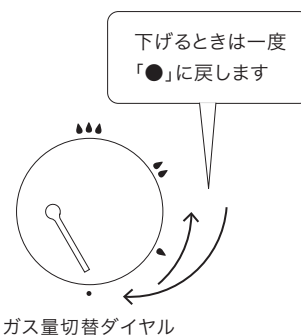
6. リフトアップカバーを閉める。
7. シャワーヘッドのスイッチを「開」にして、お湯を出す。
8. さらにぬるくしたい場合は、手順2から7までの操作を実施する。

※温度調節ダイヤルが『COLD』のポジション、ガス量切替ダイヤルが『』のポジションの組合せがお湯の最低設定温度です。

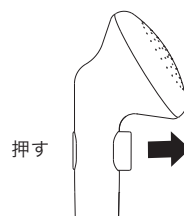
必ず行う 使用後は、ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションに合わせる。



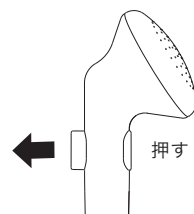
温度調節ダイヤル



ガス量切替ダイヤル



シャワーヘッド開状態



シャワーヘッド閉状態

使用後の処置

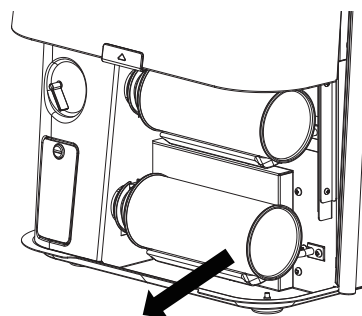
本製品を使用した後の手順です。必ず全ての操作を実施してから運搬や保管、点検を行ってください。故障や思わぬ事故の原因となります。

カセットガスを取り外す

△警告 使用後は火災防止、ガス事故防止のためカセットガスを必ず機器本体から取り外し、キャップをはめて保管してください。

使用直後は、機器本体やカセットガスが熱くなっていることがあるため、十分に注意して以下の手順で取り外してください。

1. シャワーヘッドのスイッチを「閉」にする。
※お湯が出ないことを確認してください。
2. リフトアップカバーを開ける(P.21)。
3. ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションに合わせる。
4. カセットガスの底を手前に引き出すようにして取り外す。






お願い 取り外した、カセットガスには必ずキャップをしてください。


必ず行う 取り外したカセットガスを保管・廃棄する場合は、カセットガスに表示されている注意事項をよく読み必ず守ってください。

底を手前に引き出すようにすると簡単に取り出せます


機器内の残留ガスを使い切る

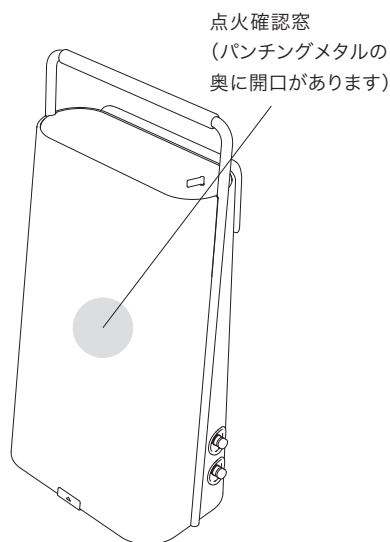
使用后、カセットガスを取り外しても機器内には残留ガスが残っています。
以下の手順で残留ガスを使い切ってください。

 警告	 必ず行う	通常の使用時(お湯を使うとき)と同じ環境下で、機器内の残留ガスを使い切る。使用場所、および周囲環境が取扱説明書の『危険』・『警告』・『注意』で使用不可となっている事項に該当していないことを確認してください。
	 禁止	機器内に残留ガスを残したまま、運搬や保管、点検を行わない。思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

1. カセットガスが取り外されていることを確認する。
2. ガス量切替ダイヤルを『』のポジションに合わせる。
3. リフトアップカバーを閉める。

 **警告** リフトアップカバーを閉めて、使用してください。思わぬ事故の原因となります。

4. 温度調節ダイヤルを『COLD』のポジションに合わせる。
5. ご使用の水栓が全開に開いていることを確認する。
6. シャワーヘッドのスイッチを「開」にし、通水させる。
※お湯が出ます。
7. 点火確認窓で点火したことを確認する。
8. 消火したこと(炎が見えない状態)を点火確認窓から確認できるまで通水する。
※点火してから最大2分程度で消火します。
※消火するとお湯が水になります。
9. 消火したら、シャワーヘッドのスイッチを「閉」にする。
10. リフトアップカバーを開ける。
11. ガス量切替ダイヤルを『』のポジションに合わせる。
12. リフトアップカバーを閉める。

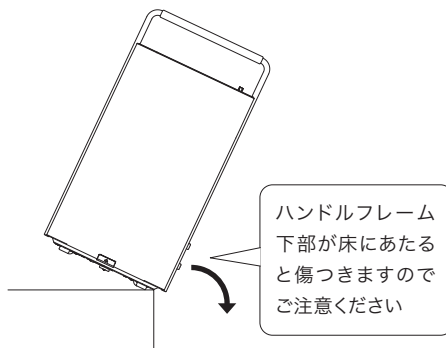


水を抜く(ホースを取り外す)

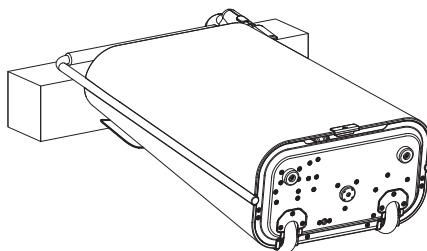
△警告 カセットガスを取り外す。火災やガス事故など思わぬ事故の原因になります。

△注意 暖かい地域でも、本製品内に残っている水が凍結して破損事故が起こることがあるので、十分に水を抜いてから保管をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、有償になります。

△注意 お湯を出した直後に「水を抜く」・「ホースを取り外す」といった作業を行うと、機器内に残っていた高温のお湯が出てくる場合がありますので、十分に注意して作業して下さい。

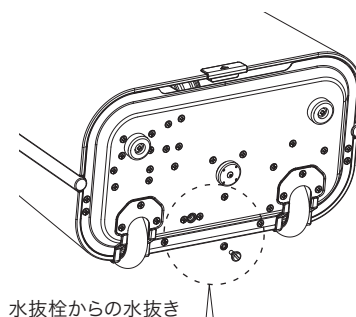


1. ご使用の水栓を閉める。
2. シャワーヘッドのスイッチを「開」にし、ヘッドとホース内の水が抜けるようにする。
3. シャワーホース、給水ホースを機器本体から取り外す。
4. 機器本体を接続口側に傾け、接続口から水を抜く。

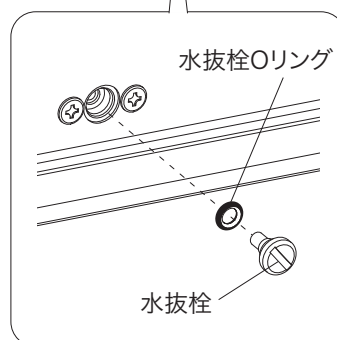


5. 機器本体を右図のように寝かせる。
※右図のように寝かせないと機器本体が変形したり傷ついたりします。

6. 機器本体底面の水抜栓を取り外す。
※水抜栓は、マイナスドライバーや硬貨などで回すと取り外せます。
※水抜栓を取り外した際は、水抜栓リングを紛失しないように注意してください。紛失してしまった場合は、『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。








7. 機器本体を起こす。
8. 機器より水が抜けたことを確認したら、右図のように寝かせる。
9. 水抜栓を元通り取り付け。
※水抜栓を取り付ける際は、水抜栓リングが取り付けられていることを確認してください。



10. 湯接続口・水接続口へ接続口キャップを取り付ける。

日常点検・お手入れ

「機器の性能維持」「ガス漏れによる事故」「機器の故障、性能劣化」等による異常を防止するには、ご使用になっているお客様による日常の点検が不可欠です。使用前に必ず日常点検とお手入れを行ってください。点検で異常が見つかった場合は、本書の各記載にしたがって正しく処置するか、『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先に相談してください。

 警告	 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・お手入れにシンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンたわし、金属製たわしなどの傷がつきやすい物は使用しない。 ・本製品の丸洗いは行わない。やけどや火災など思わぬ事故の原因となり、本製品の故障、焼損の恐れがあります。 ・故障または破損したと思われる場合は、機器を使用しない。ご家庭での分解修理は危険なため、絶対に行わないでください。 ・機器にコーヒー、ジュースなどの液体をかけない。水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・やけどの原因となります。
	 必ず行う	<p>点検・お手入れは、必ずカセットガスを取り外し、本製品が冷えてから行う。</p>
 注意	 必ず行う	<p>点検・お手入れの際は、手や指の保護の為に必ず手袋などを使用する。</p>
お願い		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に有料点検サービスを受けられる事をおすすめいたします。 ・口金部の内側のゴムパッキンは、年月が経過すると劣化し、ガス漏れの原因になります。製造後10年を目安に買い替えもしくは有料点検サービスをご検討ください。

日常点検・お手入れ一覧

- 1. 給排気点検** 排気口や、給気に用いられる機器全体のパンチングメタルの穴がほこりなどでふさがっていないか確認してください。
-
- 2. 本体点検** 外観に変形・変色がない事を確認してください。
-
- 3. 接続口点検**
- ・カセットガスを外した時にマグネットに付着物がないか確認してください。マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れやカセットガスがセットできなくなる場合があります。付着したときは粘着テープを使って取り除いてください。
 - ・口金部に泥や砂などの汚れが付着してないことを確認してください。付着している場合は、使用を中止し、『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。
 - ・口金部の内側にガス漏れ防止のためのゴムパッキンが使用されています。ゴム製品は使用頻度に関わらず年月が経過すると劣化のため、ひび割れしたり、変形したりしてガス漏れの原因になります。製造後10年を目安に買い替えもしくは有料点検サービスのご検討をお願いいたします。
-
- 4. 傾斜閉止弁点検**
- ・傾斜閉止弁のゴムカバーや保護カバーに破れ、変形、破損がないことを確認してください。
 - ・傾斜閉止弁が上下に動作することを手で押して確認してください。
-
- 5. 機器状態点検**
- ・機器やホースからの水漏れがないことを確認してください。
 - ・運転中に機器から異常音がないか確認してください。
-
- 6. 乾電池点検**
- ・乾電池の+-の向きが正しいことを確認してください。
 - ・新旧、異種の乾電池が混在していないか確認してください。
 - ・乾電池の寿命は通常の使い方です1年が目安です。古い乾電池は交換してください。
-
- 7. お手入れ**
- ・軽い汚れやほこりは、乾いた布で拭き取る。
 - ・水分は、汚れを取り除いたあとに乾いた布で拭き取る。
 - ・頑固な汚れは、お湯でしぼったきれいな布で拭き取る。
 - ・乾電池、その他の消耗品の交換方法は、本書の該当ページを参照してください。
-

保管方法・保管場所

1. カセットガスが取り外されていることを確認してください。カセットガスが外れていないようでしたら、P.31の『カセットガスを取り外す』に沿って、取り外してください。
2. 『機器内の残留ガスを使い切る』を行っていない場合は、P.32『機器内の残留ガスを使い切る』に沿って、機器内の残留ガスを使い切ってください。
3. 長期保存する場合は乾電池を外してください。
※乾電池の液漏れにより、故障の原因となります。
4. 『水を抜く(ホースを取り外す)』を行っていない場合は、P.33『水を抜く(ホースを取り外す)』に沿って、水抜きを実施し接続口キャップを取り付けてください。
5. 各部が汚れていないことを確認してください。汚れがある場合は本製品各部の清掃してください。

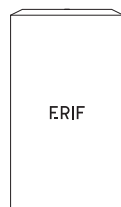
△注意 汚れや錆が酷い場合は安全の為に点検修理をご依頼ください。

6. 本製品各部が乾いていることを確認してください。
7. 本体が十分に冷えていることを確認してください。
8. 本体及び付属品は梱包箱やシート等で覆い、ほこりなどの汚れが機器内部に入り込まないように保管してください。

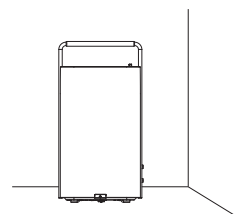
△注意 機器本体はリフトアップカバーを必ず閉め、立てた状態またはリフトアップカバーが上向きとなるように寝かせた状態で保管してください。この際に機器本体の上に物を置いたり、機器本体に無理な力が加わるような状態での保管はしないでください。故障や思わぬ事故の原因となります。

9. 本製品は次のような場所に保管してください。

- ・風通しが良いこと
- ・湿気が少ないこと
- ・氷点下にならないこと
- ・子供の手が届かないこと
- ・風雨にさらされないこと(屋内など)



梱包箱に保管



屋内に保管

△注意 車内には保管しないでください。思わぬ事故や機器の故障の原因となります。

10. カセットガスはキャップを取り付け、風通しが良い湿気の少ない40°C以下の場所で保管すること。

廃棄について

- 本製品を廃棄する場合は、各自治体の指示に従ってください。
- 本製品にカセットガスを装着したまま廃棄しないでください。
装着したまま廃棄すると、思わぬ事故になるおそれがあります。
- 本製品を廃棄する場合は、残留ガスを使い切って廃棄してください。
使い切らずに廃棄すると思わぬ事故の原因になるおそれがあります。
- カセットガスの廃棄はボンベ裏面の記載事項に従ってください。
- 乾電池の廃棄は各自治体の指示に従ってください。

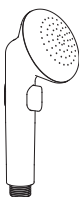
別売品一覧・別売品使用方法

1. レギュラー
ガスカートリッジ



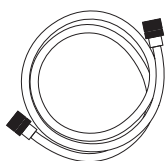
背面のラベルに従って使用してください。

2. シャワーヘッド
セピアブラウン
シェルピンク
アッシュシルバー
グラスグリーン



P.23『シャワーヘッドの取り付けかた』を参照してください。

3. シャワーホース
クレイ 2m/5m
ベージュ 2m/5m



P.24『シャワーホースの取り付け手順』を参照してください。

4. シャワーフック
セピアブラウン
シェルピンク
アッシュシルバー
グラスグリーン



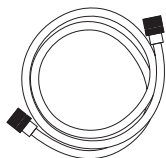
P.25『シャワーフックの使いかた』を参照してください。

5. 接続口キャップ



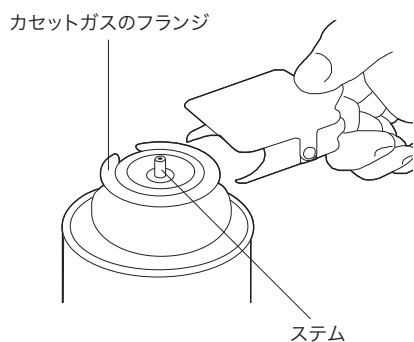
P.19を参照してください。

6. 給水ホース
クレイ 3m
ベージュ 3m



P.24『給水ホースの取り付け手順』を参照してください。なお、カプラの使いかたはシャワーホースと同じです。

7. ガス抜きクリップ



1. ガス抜きをするときは風通しの良い、火の気のない屋外で行ってください。使用場所や周囲の環境が、本取扱説明書の『危険』・『警告』・『注意』で使用不可となっている事項に該当していないことを確認してください。
2. 使い終わったカセットガスのキャップを取り外してください。
3. ガス抜きクリップの先端を広げ、カセットガスのフランジに合わせて、ステムを押し込むようにセットしてください。
 - ⚠警告 ガス抜きを実施している際は、そばを離れないでください。そばを離れる場合は、ガス抜きを中断してください。
 - ⚠警告 子供に操作させないでください。
4. ガスが抜けたことを確認し、ガス抜きクリップを取り外してください。

※別売品は予告なく追加・変更・販売中止することがあります。
最新の情報はERIFウェブサイトでご確認ください。

故障・異常かな?と思ったら

故障・異常の診断と対処方法

症状	診断	対処
症状① 水が出ない	ご使用の水栓は全開になっていますか?	ご使用の水栓を全開にしてください。
	給水ホース・シャワーホースは絡まっていますか?	ホースをほどいてください。
	給水ホース・シャワーホースがねじれたり、折れ曲がったりしていませんか?	ホースのねじれや折れ曲がり直してください。
	給水ホース・シャワーホースが重量物などの下敷きになっていませんか?	ホースを重量物などの下から出してください。
	ご使用の水栓(水道)が断水していませんか?	すぐに使用をやめ、ご使用の水栓を閉じてください。断水が終わるまで使用を中止してください。
症状② 水が出るが火が付かない (お湯にならない) 「ピピッ」というブザー音が10秒間隔で鳴る。	機器本体、給水ホース、シャワーホース、シャワーヘッドの中の水が凍結しているおそれはありませんか?	すぐに使用をやめ、ご使用の水栓を閉じてください。解凍するまで使用を中止してください。
	カセットガスは正しく取り付けられていますか?	手順(P.27)に従い正しく取り付けてください。
	ガスがなくなっていないですか?	カセットガスを新しいものに交換してください。
	ガス量切替ダイヤルは『●』のポジションになっていませんか?	手順(P.29)に従いガス量切替ダイヤルを操作してください。
	機器は水平な場所に正しく設置されていますか?	水平な場所に正しく設置してください。
機器は凹凸が激しい場所やぬかるみなどの地面がやわらかい場所に設置していませんか?	平坦な安定した地面の場所に設置してください。	

症状	診断	対処
症状② 水は出るが火が 付かない (お湯にならない) 「ピピッ」というブ ザー音が10秒間隔 で鳴る。 (つづき)	風が排気口に流れ込むような向きに設置していませんか？	風が排気口に流れ込まない向きや場所に設置してください。
	乾電池ボックスの接点部が錆びていませんか？	修理を依頼してください。
	乾電池は消耗していませんか？	乾電池を新しいものに交換してください。
	症状②の診断・対処でいずれも直らない場合、圧力感知安全装置が作動している可能性があります。	手順(P.49)に従い圧力感知安全装置の復帰操作を行ってください。
症状③ 水は出るが火が 付かない (お湯にならない) 「ピピッ」というブ ザー音が鳴らない。	直前の出湯ではお湯が出たが、一度お湯を止めた後の再度出湯で火が付かない(お湯にならない)状況ですか？	安全装置が作動しているため異常ではありません。30秒程度通水した後に一度止めて再度出湯するとお湯が出ます。
	給水温度(水道の温度)が高くないですか(夏季など)？	水道の温度が高い場合は、異常ではありません。水温の低い水道で作動を確認してください。
	ご使用の水栓は全開になっていますか？	ご使用の水栓を全開にしてください。
	機器は水平な場所に正しく設置されていますか？	水平な場所に正しく設置してください。
	給水ホースとシャワーホースが逆に接続されていませんか？	給水ホースとシャワーホースを正しく接続してください。
	ご使用の水栓から十分な水量が出ますか？	十分な水量が出る水栓に給水ホースを接続し、使用してください。
	乾電池ボックスの接点部が錆びていませんか？	修理を依頼してください。
	乾電池は消耗していませんか？	乾電池を新しいものに交換してください。

故障・異常かな?と思ったら(つづき)

症状	診断	対処
症状④ 出湯中に火が消えてしまう (お湯が水になっってしまう) 「ピ・ピ・ピ・・・」というブザー音が10秒間鳴る。	ガスが少なくなっていますか?	カセットガスを新しいものに交換してください。
	強風や雨の中で使用していませんか?	強風や雨の中で使用すると停止することがあります。故障の原因になるため使用を控えてください。
	風が排気口に流れ込むような向きに設置していませんか?	風が排気口に流れ込まない向きや場所に設置してください。
	排気口を塞いだり排気口の周りに物を置いたりしていませんか?	排気口を塞いだり排気口の周りにものを置いたりしないでください。
	排気口の排気通路が水滴やほこりなどの付着で塞がっていませんか?	『日常点検・お手入れ一覧』(P.35)に従い、水滴やほこりなどを拭き取ってください。
	排気口側の外装部(パンチングメタル)に水やほこりなどが付着し、外装部の穴が塞がっていませんか?	『日常点検・お手入れ一覧』(P.35)に従い、水滴やほこりなどを拭き取ってください。
	屋内や排気がこもるような場所で使用していませんか?	直ちに使用を中止してください。『使用上の注意』(P.4)に記載の「危険」・「警告」・「注意」で使用不可となっている環境では使用しないでください。
症状⑤ 出湯中に火が消えてしまう (お湯が水になっってしまう) 「ピ・ピ・ピ・・・」というブザー音が鳴らない。	ガスがなくなっていますか?	カセットガスを新しいものに交換してください。
	ガス量切替ダイヤルの設定は正しいですか?	安全装置によって消火することがあります。手順(P.29)に従い適切な設定をして使用してください。
	出湯中に機器本体を傾けたり、本体に衝撃や振動などを加えたりしていませんか?	安全装置によって消火することがあります。使用中は傾けたり衝撃や振動などを加えたりしないよう注意して使用してください。

症状	診断	対処
	出湯中に機器を持ち上げたりしていませんか？	安全装置によって消火します。使用中は持ち上げないでください。
	風が排気口に流れ込むような向きに設置していませんか？	風が排気口に流れ込まない向きや場所に設置してください。
	乾電池ボックスの接点部が錆びていませんか？	修理を依頼してください。
症状⑤	乾電池は消耗していませんか？	乾電池を新しいものに交換してください。
出湯中に火が消えてしまう (お湯が水になってしまう)	ご使用の水栓からの水の温度がぬるくないですか？	ご使用の水栓からの水の温度が下がるまで通水してください。
「ピ・ピ・ピ・・・」というブザー音が鳴らない。 (つづき)	ご使用の水栓からの水量が変化し少なくなっていないですか？	安定した十分な水量が出る水栓に給水ホースを接続し、使用してください。
	ご使用の水栓(水道)が断水していませんか？	すぐに使用をやめ、ご使用の水栓を閉じてください。断水が終わるまで使用を中止してください。
	症状⑤の診断・対処でいずれも直らない場合、圧力感知安全装置が作動している可能性があります。	手順(P.49)に従い圧力感知安全装置の復帰操作を行ってください。
症状⑥	温度調節の操作が合っていますか？	手順(P.29)に従い温度を調節してください。
熱いお湯が出ない	ガスが少なくなっていないですか？	カセットガスを新しいものに交換してください。

故障・異常かな?と思ったら(つづき)

症状	診断	対処
症状⑥ 熱いお湯が出ない (つづき)	ご使用の水栓から出る水の温度が低い くないですか?(冬季など)	水の温度が低い場合、異常では ありません。水の温度が上がると 熱いお湯が出るようになります。
	周囲の気温が低く(冬季など)、カセット ガスが冷えていませんか?	暖かい場所で保管したカセットガス と交換してください。
	給水温度(水道の温度)が高くないで すか(夏季など)?	水道の温度が高い場合は、異常 ではありません。水温の低い水道 で作動状態を確認してください。
症状⑦ ぬるいお湯が出ない	温度調節の操作が合っていますか?	手順(P.29)に従い温度を調節して ください。
	ご使用の水栓は全開になっていますか?	ご使用の水栓を全開にしてください。
	ご使用の水栓から十分な水量が出ま すか?	十分な水量が出る水栓に給水ホー スを接続し、使用してください。
症状⑧ ガスの臭いや、 いやな臭いがする	ご使用の水栓から出る水の温度が高 くないですか?(夏季など)	水の温度が高い場合、異常ではあ りません。水の温度が下がるとぬ るいお湯が出るようになります。
	カセットガスは正しく取り付けられて いますか?	手順(P.27)に従い正しく取り付 けてください。
症状⑨ 点火した炎が黄色い	機器本体の周囲に燃えやすいものやプ ラスチック製品などありませんか?	使用を中止し、周囲のものを除去し てください。
	機器本体の周囲を囲っていませんか?	機器本体の周囲を囲わないでく ださい。
	屋内や排気がこもるような場所で使用 していませんか?	直ちに使用を中止してください。『使 用上の注意』(P.4)に記載の「危 険」・「警告」・「注意」で使用不可と なっている環境では使用しないでく ださい。

症状	診断	対処
症状⑩ シャワーヘッドと シャワーホースの 接続部から水が漏れる	シャワーヘッドとシャワーホースは正しく接続していますか？	手順(P.23)に従い正しく取り付けてください。
	ホース接続パッキンに傷や劣化はありませんか？	ホース接続パッキンを交換してください。
症状⑪ シャワーヘッド本体と 散水板の接合部から 水が漏れる	シャワーヘッド表面の水気を拭き取り、散水板を下に向けた状態で湯または水を出し、シャワーヘッド本体と散水板の接合部から水が漏れていることを確認してください。	修理を依頼してください。
症状⑫ シャワーホースと 湯接続口の接続部 から水が漏れる	シャワーホースを湯接続口に正しく接続していますか？	手順(P.24)に従い正しく取り付けてください。
	湯接続口の接続口Oリングに傷などはありませんか？	『消耗品・推奨品一覧』(P.54)に記載の接続口Oリングを購入し、交換してください。購入、交換が困難な場合は『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。
症状⑬ 給水ホースと 水接続口の接続部 から水が漏れる	給水ホースは、『給水ホースについて』(P.20)に記載の別売品または推奨品ですか？	別売品または推奨品を使用してください。
	水接続口の接続口Oリングに傷などはありませんか？	『消耗品・推奨品一覧』(P.54)に記載の接続口Oリングを購入し、交換してください。購入、交換が困難な場合は『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。

故障・異常かな?と思ったら(つづき)

症状	診断	対処
症状⑭ 給水ホースと 蛇口ニップルの 接続部から 水が漏れる	給水ホースは、『給水ホース』(P.20)に記載の別売品または推奨品ですか?	別売品または推奨品を使用してください。
	蛇口ニップルは『蛇口ニップル』(P.20)記載の給水ホースに合ったものですか?	給水ホースに合った蛇口ニップルを使用してください。
	給水ホースに合った蛇口ニップルを使用している場合	給水ホースの取扱説明書などを参考に異常がないか確認してください。
	蛇口ニップルが推奨品の場合	蛇口ニップルの取扱説明書などを参考に異常がないか確認してください。
症状⑮ 水抜栓から 水が漏れる	水抜栓が外れたり、ゆるんでいたりしていませんか?	『使用後の処置』(P.31)に従い水抜きまで実施し、水抜栓を正しく取り付けてください。
	水抜栓がゆるみなく取り付けられているが、水抜栓から漏れていますか?	『使用後の処置』(P.31)に従い水抜きまで実施し、水抜栓リングがあること、水抜栓リングに傷が付いていないことを確認してください。問題がある場合は『消耗品・推奨品一覧』(P.54)に記載の水抜栓リングを購入し、交換してください。購入、交換が困難な場合は『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。

次のような場合は故障ではありません

現象	理由
お湯を止めた後、シャワーヘッドからしばらくお湯(または水)がたれてくる。	シャワーヘッドの中に溜まっているお湯(または水)が出てきます。
点火してもしばらく、「パチパチ」とスパーク音がする。	確実に点火するため、約2秒間スパークし続けます。
高温に設定して使用すると「シャー」という音がする。	お湯が沸く音です。
お湯を止めたあと、「チリ、チリ」という音がする。	熱による膨張・収縮音です。
お湯を出し始めたときに「ポツ」という音がする。	点火音です。
炎の先が少し黄色い。	ガス量切替ダイヤルのポジションが『  』の場合、炎の先が少し黄色い炎になることがあります。
排気口から白い湯気が出る。	外気温が低い場合、排気口からの排気が外気で冷やされ水蒸気が発生することがあります。
本体の表面から白い湯気が出る。	外気温が低く、本体表面に水が付着している場合、水が温められると水蒸気が発生します。
塗装が傷ついた。	本製品の外装部の金属部品は、衝突や擦れにより塗装が剥げることがありますが、機能上の支障はございません。傷の程度が大きい場合は『アフターサービス』(P.53)に記載の連絡先にご相談ください。
色にムラがある。	本製品の樹脂部品(ゴム・プラスチック)は、製造工程の影響により、個体によって色ムラが出るがありますが、機能上の支障はございませんのでそのままお使いください。

圧力感知安全装置の復帰方法

故障・異常の診断と対処方法(P.42、P.44)の診断で圧力感知安全装置の復帰操作の対処が必要となった場合、以下の手順で復帰操作を行ってください。手や指の保護のために必ず手袋などを使用してください。

1. シャワーヘッドのスイッチを「開」にし、お湯(または水)を出す。
2. 機器が点火しないことを確認する。
3. 「ピピッ」というブザー音が、手順1の約10秒後から、10秒間隔で繰り返し鳴ることを確認する。
4. 手順2と手順3の確認の結果にそって次の手順を実施する。

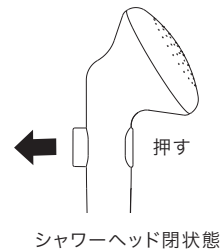
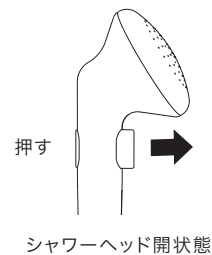
■正常に点火しブザー音も鳴らない場合

機器は正常です。圧力感知安全装置を操作する必要はありません。手順5の操作で作業を終了してください。

■点火せず、ブザー音が鳴る場合

圧力感知安全装置の働きによって機器の作動が一時停止されています。手順5以降の操作によってリセットしてください。

5. シャワーヘッドのスイッチを「閉」にし、お湯(または水)を止める。
6. リフトアップカバーを開ける。



7. ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションにする。

8. カセットガスの底を手前に引き出すようにして取り外す。

△注意 カセットガスが熱くなっていることがあるため、手袋などを使用してください。

お願い 取り外したカセットガスには必ずキャップをしてください。

9. ガス量切替ダイヤルを『▲』のポジションにする。

10. シャワーヘッドのスイッチを「開」にし、水を出す。

△注意 この操作のみリフトアップカバーを開けたまま操作するため、本体が倒れたりしないよう十分に気を付けてください。

11. 「ピピッ」というブザー音が10秒間隔でなることを確認したら、シャワーヘッドのスイッチを「閉」にし、水を止める。

12. ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションにする。

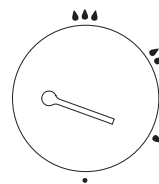
13. ガス量切替ダイヤルを『●』のポジションから時計回りに止まるところまで回す。

14. 手順9～手順13の操作を20回繰り返す。

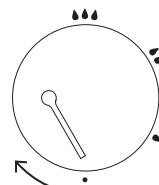
以上で圧力感知安全装置の復帰操作が完了です。



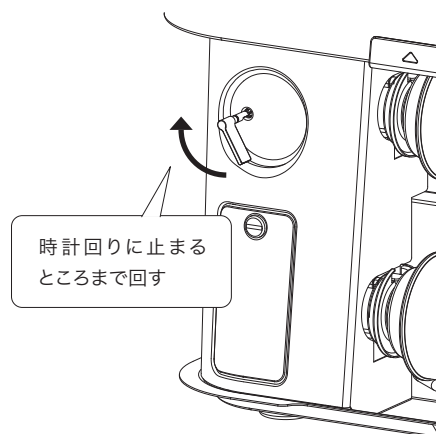
ガス量切替ダイヤル『●』



ガス量切替ダイヤル『▲』



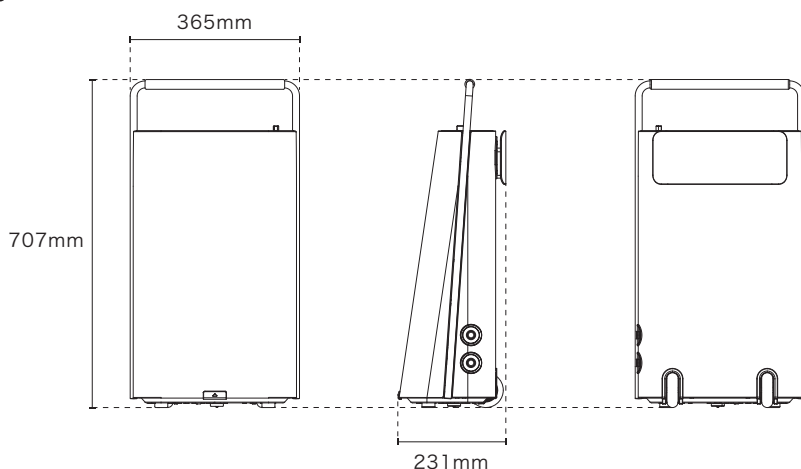
ガス量切替ダイヤル『リセット』



ワンポイント解説

圧力感知安全装置は、なんらかの原因で配管内部の圧力が異常上昇したときに、自動的にガスを遮断する安全装置です。いったん作動した圧力感知安全装置をリセットするためには、機器の状態にもよりますが、最大で20回程度の操作を繰り返す必要があります。この操作を行う際は、本書記載の各種注意をよくお読みいただき、事前に圧力感知安全装置の作動原因を除去してください。また、操作後は新しいカセットガスを用い、正常に使用できることを確認してください。

仕様



製品名	OUTDOOR GAS BOILER(アウトドア ガス ボイラー)
型式名	EGB-GB-010
本体寸法	W365mm×D231mm×H707mm
本体重量	約17.0kg
電源	DC3V(単一形乾電池×2個)
使用燃料	カセットガス(液化石油ガス/LPG)×2本 ※『ERIF レギュラーガスカートリッジ』もしくは、 『東邦金属工業(株) トーホーハンディガス(ゴールドとミニは除く)』をご使用ください。
カセットガス脱着方式	マグネット式
最大ガス消費量	10(kW)、8600(kcal/h)、730(g/h)
使用水圧	130～700KPa(上水) ※水道接続必要(小型ポンプ等では作動しません)
最低作動水量	3.2L/min(温度調節ダイヤル「HOT」設定時)
能力	25℃上昇 4.8L/min(ガス消費量最大時)
連続燃焼時間	約41分(ガス消費量最大時の理論値です。 気温や水温などの条件により実際とは異なる場合があります)
設置方式	屋外式・可搬型
安全装置	立消え安全装置、再点火防止装置、過熱防止装置、転倒時ガス遮断装置、 酸素濃度センサー、圧力感知安全装置
パッケージ内容	本体、シャワーフック、シャワーヘッド、シャワーホース(専用カプラ付き)、 接続口キャップ、お試用乾電池(単一形×2個)、取扱説明書
カラー	セピアブラウン (型式:EGB-GB-010-0SB) シェルピンク (型式:EGB-GB-010-0SP) アッシュシルバー (型式:EGB-GB-010-0AS) グラスグリーン (型式:EGB-GB-010-0GG)

安全装置について

立消え安全装置	炎が消えてしまった場合に、自動的にガスを遮断します。
再点火防止装置	故障等で炎が消えても、自動的に点火動作を実施させない機能です。
過熱防止装置	使用中、機器内の温度が異常に高くなったとき、この安全装置がはたらいて、自動的にガスを止めます。安全のため機器を使用することができなくなります。
転倒時ガス遮断装置	本体が倒れたり、傾けたり、強い衝撃が加わったときに、自動的にガスを遮断して消火します。
酸素濃度センサー	酸素濃度不足、熱交換器詰まり、排気閉塞などにより、炎が不安定になった場合に、自動的にガスを遮断して消火します。再使用する場合は、周りの環境を十分に確認してから再使用してください。
圧力感知安全装置	カセットガスが過熱されカセットガス内の圧力が異常上昇したときに、自動的にガス通路を遮断して、炎を消します。

アフターサービス

修理手続きに着手する前に取扱説明書およびERIFウェブサイトのFAQをお読みになることをお勧めします。問題が解決することがございます。

<https://www.erif.jp/faq>



修理・点検・商品についてのお問合せ

ERIFサポートセンター

受付時間：平日9:00～17:00(土日祝・年末年始・夏季休暇除く)

お電話：048-233-9234

インターネット(24時間365日受付)：

<https://shop.erif.jp/shop/contact/contact.aspx>



修理の手続き方法は「ERIF保証プログラム」をご参照ください。

<https://shop.erif.jp/shop/pages/warranty.aspx>



個人情報の取り扱いは

「ERIFプライバシーポリシー」をご参照ください。

<https://shop.erif.jp/shop/pages/privacy-policy.aspx>



消耗品・推奨品一覧

ERIF純正消耗品

以下の消耗品はERIFオンラインショップからお買い求めいただけます。

- ・ レギュラーガスカートリッジ

市販消耗品

以下の消耗品は仕様に適合する市販品をお使いください。

- ・ ホース接続パッキン
仕様：13A(外径：φ18.5、厚さ：2.5mm 材質：EPDMまたはNBR)
- ・ 水抜栓^{オー}Oリング
仕様：P5(材質：VMQ-70またはNBR-70)
- ・ 接続口^{オー}Oリング
仕様：P12(材質：VMQ-70またはNBR-70)

推奨品一覧

本取扱説明書で言及しました推奨品(ホースやカップラーなどの一般市販品)は、ERIFウェブサイトにも最新の一覧表を掲載しておりますので、ご参照ください。



モリタ工業株式会社
332-0006 埼玉県川口市末広1-23-6
www.moritakk.co.jp

L-17001-1